

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ソーシャルワーク専門学校
設置者名	学校法人大庭学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育・社会福祉専門課程	こども未来学科	夜・通信	10 単位	6 単位	
	介護・社会福祉学科	夜・通信	12 単位	10 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.ooba-gakuen.ac.jp/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ソーシャルワーク専門学校
設置者名	学校法人大庭学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.ooba-gakuen.ac.jp/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	安里会計事務所 所長	令和5年3月	法人経営、財務、教育研究 に関する助言・指導
非常勤	國場経営事務所 所長	令和5年3月	法人経営、財務、教育研究 に関する助言・指導
非常勤	第2ぐしかみ保育園 園長	令和5年3月	法人経営、財務、教育研究 に関する助言・指導
(備考) 理事の任期は3年間とする。			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ソーシャルワーク専門学校
設置者名	学校法人大庭学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教務責任者が、毎年 9 月末に各授業担当教員に担当科目の授業計画(シラバス)の作成を依頼し、履修年次、必修・選択の別、単位数、授業概要、事前学習内容、授業計画、成績評価の方法・基準、テキストを記載、作成する。学生へは授業の初めに配布、又は、ホームページにて知らせている。公表時期は 4 月～6 月に実施する。</p>	
授業計画書の公表方法	
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則第 20・21 条の規定に基づき、履修認定を行っている。科目履修認定は、学則第 11 条の別表に定める講義・演習・実技については、時間数の 3 分の 2 以上出席した学生に対して試験を行い、60 点以上の成績をもって合格とする。実習については、時間数を必修とし実習受け入れ施設・機関による評価と実習生自身による評価、実習簿、実習巡回時の担当教員による評価等を基に評価する。</p> <p>評価基準については、80 点～100 点を「優」、70 点～79 点を「良」、60 点～69 点を「可」、59 点以下は「不可」とする。</p> <p>※こども未来学科は、レポート評価と科目試験評価をプラスして成績評価する科目もある。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
 公平性と透明性を確保し、全学的に統一した基準で、かつ国際的に通用する基準を用いるため、本校では、GPA(Grade Point Average)制度を用いた成績評価を行います。修学基準や優秀な学生の表彰等に利用します。

GPAは、以下の方法で算出します。

(1)GPAの対象となる授業科目

こども未来学科、介護・社会福祉学科における必修科目、選択必修科目、選択科目のあらゆる科目について、GPAの対象とする。

(2)成績評価の評定記号と付加するグレード・ポイント(GP)

成績評価は、点数方式を行い、以下の評定記号(優～可)の区分に応じたGPを算出します。

(3)GPAの算出方法

GPA値は、対象授業科目のうち、履修した科目について、それぞれの単位数にグレード・ポイント(3・2・1・0)のいずれかをかけ、そのポイント(GPS)を、それぞれの単位数の総和で割った数値です。

評価区分	評定記号	評価内容	GP
100～80(点)	優	優れた成績である	3
79～70(点)	良	概ね妥当な成績である	2
69～60(点)	可	合格に必要な最低基準値を満たした成績である	1
59～0(点)	不可	合格に至らない成績である	0
—	N	単位認定科目(CT)	なし

$$3.0 \times \text{「優」の単位数} + 2.0 \times \text{「良」の単位数} + 1.0 \times \text{「可」の単位数}$$

$$\text{総履修単位数(不可の単位数も含む)}$$

※1 N(単位認定科目)は、算出の対象としません。

※2 小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までの数値で、成績表に記載します。
 成績表：前期、後期ごとのGPA値、通算のGPA値(不可、Nは記載いたしません)

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.ooba-gakuen.ac.jp/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校では、「こころは豊かに技を確かに」の建学の精神の下、「ちむがなさの想いを身につけた専門職として、子どもから高齢者とすべての人々の暮らし・福祉社会の発展に寄与できる人材」の育成を掲げています。それぞれの福祉専門職における理想像をめざし、カリキュラムの学習教育目標を定め、各教育課程でこれらを身につけた者を卒業認定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.ooba-gakuen.ac.jp/social>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ソーシャルワーク専門学校
設置者名	学校法人大庭学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.ooba-gakuen.ac.jp/social
収支計算書又は損益計算書	https://www.ooba-gakuen.ac.jp/social
財産目録	https://www.ooba-gakuen.ac.jp/social
事業報告書	https://www.ooba-gakuen.ac.jp/social
監事による監査報告（書）	https://www.ooba-gakuen.ac.jp/social

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	こども未来学科	平成7年度 文部科学省 告示第84号	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	110単位	37単位	58単位	10単位	0単位	5単位
単位時間/単位							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140人		105人	0人	6人	32人	38人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教務責任者が、毎年9月末に各授業担当教員に担当科目の授業計画（シラバス）の作成を依頼し、履修年次、必修・選択の別、単位数、授業概要、事前学習内容、授業計画、成績評価の方法・基準、テキストを記載、作成する。学生へは授業の初めに配布、又は、ホームページにて知らせている。 公表時期は4月～6月に実施する。
成績評価の基準・方法
（概要） 学則第20・21条の規定に基づき、履修認定を行っている。科目履修認定は、学則第11条の別表に定める講義・演習・実技については、時間数の3分の2以上出席した学生に対して試験を行い、60点以上の成績をもって合格とする。実習については、時間数を必修とし実習受け入れ施設・機関による評価と実習生自身による評価、実習簿、実習巡回時の担当教員による評価等を基に評価する。 評価基準については、80点～100点を「優」、70点～79点を「良」、60点～69点を「可」、59点以下は「不可」とする。 ※こども未来学科は、レポート評価と科目試験評価をプラスして成績評価する科目もある。

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、「こころは豊かに技を確かに」の建学の精神の下、「ちむがなさの想いを身につけた専門職として、子どもから高齢者とすべての人々の暮らし・福祉社会の発展に寄与できる人材」の育成を掲げています。それぞれの福祉専門職における理想像をめざし、カリキュラムの学習教育目標を定め、各教育課程でこれらを身に付けた者を卒業認定する。
学修支援等
(概要) 本校では、クラス担任教員を置き、学習に関すること、進路に関すること、一人一人の学修状況・習熟度に合わせた的確なアドバイスをすることで、学生が自らの力で学修を進めるための「足場かけ」をします。 学生生活や人間関係についての悩みといった、学生一人ひとりの相談にも対応します。学生相談室、教務課、学生支援課、就職支援課等と連携を密にとり、問題の解決にあたります。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
46人 (100%)	0人 (%)	46人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 保育園、幼稚園、地域型保育事業、児童福祉事業、知的障害者援護施設			
(就職指導内容) 就職活動の基本知識から、面接などの具体的な指導に加え、資格が活かせるガイダンスを実施している。学生の進路希望を教職員で共有しサポートしている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 保育士資格、幼稚園教諭二種免許状、社会福祉主事任用資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
110人	6人	5.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更、身体的		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個別面談及び保護者を含めた三者面談後に校長と面談を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	介護・社会福祉学科	平成7年度 文部科学省 告示第84号	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	183 単位	97 単位	66 単位	20 単位	0 単位	0 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120 人	34 人	0 人	10 人	29 人	39 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>教務責任者が、毎年9月末に各授業担当教員に担当科目の授業計画（シラバス）の作成を依頼し、履修年次、必修・選択の別、単位数、授業概要、事前学習内容、授業計画、成績評価の方法・基準、テキストを記載、作成する。学生へは授業の初めに配布、又は、ホームページにて知らせている。</p> <p>公表時期は4月～6月に実施する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学則第20・21条の規定に基づき、履修認定を行っている。科目履修認定は、学則第11条の別表に定める講義・演習・実技については、時間数の3分の2以上出席した学生に対して試験を行い、60点以上の成績をもって合格とする。実習については、時間数を必修とし実習受け入れ施設・機関による評価と実習生自身による評価、実習簿、実習巡回時の担当教員による評価等を基に評価する。</p> <p>評価基準については、80点～100点を「優」、70点～79点を「良」、60点～69点を「可」、59点以下は「不可」とする。</p> <p>※こども未来学科は、レポート評価と科目試験評価をプラスして成績評価する科目もある。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>本校では、「ここは豊かに技を確かに」の建学の精神の下、「ちむがなさの想いを身につけた専門職として、子どもから高齢者とすべての人々の暮らし・福祉社会の発展に寄与できる人材」の育成を掲げています。それぞれの福祉専門職における理想像をめざし、カリキュラムの学習教育目標を定め、各教育課程でこれらを身につけた者を卒業認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>本校では、クラス担任教員を置き、学習に関すること、進路に関すること、一人一人の学修状況・習熟度に合わせた的確なアドバイスをすることで、学生が自らの力で学修を進めるための「足場かけ」をします。</p> <p>学生生活や人間関係についての悩みといった、学生一人ひとりの相談にも対応します。学生相談室、教務課、学生支援課、就職支援課等と連携を密にとり、問題の解決にあたります。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	17人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 介護保険施設、障害者支援施設、社会福祉協議会			
(就職指導内容) 就職活動の基本知識から、面接などの具体的な指導に加え、資格が活かせるガイダンスを実施している。学生の進路希望を教職員で共有しサポートしている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 介護福祉士国家試験受験資格、社会福祉主事任用資格、社会福祉士国家試験受験資格（要実務1年）、レクレーションインストラクター			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	3人	7.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学費支払困難		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個別面談及び保護者を含めた三者面談後に校長と面談を行う。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
こども未 来学科	100,000 円	520,000 円	620,000 円	
介護・社会 福祉学科	90,000 円	590,000 円	680,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
優秀学生支援制度、特待生制度、修学支援金制度				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ooba-gakuen.ac.jp/social		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学内の教職員による「自己点検・評価」を実施し、自己点検評価委員会にて点検・評価を実施している。さらに学生による学校評価も取りまとめたものを集計し、より客観性、透明性の高い情報ができるよう配慮致します。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
社会福祉士	令和2年4月1日 ～令和3年3月31日	企業
保護者	令和2年4月1日 ～令和3年3月31日	P T A
卒業生	令和2年4月1日 ～令和3年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ooba-gakuen.ac.jp/social		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ooba-gakuen.ac.jp/social
--